

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年第 1 回定例会

順番	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	要 旨	答 弁 を 求める者
6	5	川 畑 二 美	1 高齢者支援について	(1) 市内の温泉施設の利用者数は。 (2) 高齢者の温泉割引券はできないか。 (3) タクシーの基本料金が値上がりしている。1 枚300円、1 人48枚のタクシー利用券を拡充できないか。	市 長 市 長 市 長
			2 農業関係について	(1) 農林水産省が示している「地域食料自給率計算シート」を使って阿久根市の地域食料自給率を計算できないか。 (2) 阿久根市の農家戸数は何戸か。また、そのうち有機農業をしている農家戸数は何戸か。 (3) 阿久根市の遊休農地の推移を示せ。また、遊休農地を使用して、有機農業をする農家への支援ができないか。 (4) 阿久根市の新規就農者への支援策を示せ。	市 長 市 長 市長・農業 委員会会長
			3 物価高騰対策について	物価高騰で苦しむ市民にとって阿久根市独自の商品券は助かるという市民が多い。商品券の発行はできないか。	市 長
			4 時間外勤務をしている職員の健康を維持するために	薩摩川内市は2月まで平日休日を問わず時間外勤務をしている職員のエアコン使用ができるようになった。 昨年9月の議会で取り上げたが、部屋を移動できず、やむを得ず時間外勤務をしている職員の健康を守るために、エアコンの利用をさせるべきである。市長の再考を求める。	市 長
			5 学校給食について	(1) 学校給食を無償化する自治体は増えている。県内他市の実施状況を把握しているか。 (2) 学校給食における地元食材の	教 育 長 教 育 長

			6 学校統廃合について	利用割合は。 (3) 物価高騰対策として市が地元食材を買い上げて学校給食を無償化すれば農家支援にもなるのではないか。 (1) 市民の「小規模校を残してほしい」という声を市は理解しようとしているか。 (2) 地域説明会に地域住民が参加しやすいように、昼は高齢者を対象に、夜は保護者を対象にして、説明会に市民が集まりやすいようにできないか。 (3) 令和6年度のいじめの件数は。 (4) 学校統廃合で学校の規模が大きくなれば、いじめが増えるという心配はないか。 (5) 学校統廃合で通学距離が長くなることで子供の安全面は心配ないか。	教 育 長	教 育 長	教 育 長	教 育 長	教 育 長	教 育 長
			7 原子力防災訓練について	(1) 原子力防災訓練に大川地区の住民の参加があったが、参加していない住民の訓練はしなくてもいいのか。 (2) 今回の避難訓練は屋外だった。気象条件によっては空間放射線量が高くなることは想定されていないのか。 (3) 学校での原子力防災訓練は行われているのか。	市	市	市	市	市	市
7	8	竹 原 信 一	1 職員の公務員意識	公務員という言葉が職員と市民の意識や行動にどのような影響を与えていると考えるか。	市	市	市	市	市	市
			2 市民との協働	市民と職員が気軽に意見交換できるようにするべきとは思っていないのか。	市	市	市	市	市	市
			3 A I を駆使した行政改革	A I 導入で職員の負担と経費を軽減し、市民サービスの質を向上させることが可能ではないか。	市	市	市	市	市	市
			4 報酬と給与の引上げ	生活の窮状と官民格差は市民の自尊心を傷つけるのを分かっているか。	市	市	市	市	市	市

			5 施政方針への疑問	(1) ごみ減量の施策が本来の目的にかなうと数値で証明できるか。	市	長
				(2) 公共施設は、老朽化させないように日常整備につとめるべきではないか。	市	長
			6 「世間」から自由な教育	(1) テストや通知表は、子供たちの自尊心を傷つけるのを知っているか。	教 育	長
				(2) 子供たちが「世間」という枠組みにとらわれず、自由に自分らしく成長するには、どのような教育が必要だと考えるか。	教 育	長
			7 A I 時代の教育	(3) 自由な校風の学校を阿久根市に造ることは可能か。 A I を活用した個別最適化学習や、興味・関心を引き出すコンテンツなどを導入する具体的な予定はあるか。	教 育	長
			8 子供たちの声	(1) 学校統廃合について、子供たちの意見を聞いていないが、なぜ子供たちの意見を聞かずに進めるのか。	教 育	長
				(2) 学校では、最も大切な子供たち自身の意見を聞くのに、どのような取組をしているか。	教 育	長
				(3) 子供たちが積極的に学校運営に参加できる仕組みづくりについて、どのように考えているか。	教 育	長